

1 右の年表を見て、次の各問いに答えなさい。

(1) () にあてはまることばを、それぞれ答えなさい。

(2) ←→ の時代を何といいますか。

(3) 下線部の人物が全国につくらせたものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 前方後円墳 イ 高床倉庫 ウ 国分寺 エ 正倉院
 (4) 年表中のころにつくられた歴史の本は『古事記』ともう1つは何ですか。

年	できごと
710	(①) 京がえられる
724	<u>聖武天皇</u> が即位する
752	(②) 寺の大仏が完成する
784	都が移される

(1)	①	へいじょう 平城
	②	東大
(2)	奈良 時代	
(3)	ウ	
(4)	にほんしょき 日本書紀	

(1)(2) 平城京は、現在の奈良県奈良市につくられました。中国にならった本格的な都で、ごはんの目のようなつくりです。

(3) 聖武天皇は、仏教の力で国を守ろうと、国ごとに国分寺・国分尼寺、都に東大寺を建てました。エの正倉院は東大寺にある倉で、聖武天皇の身の回りの品などがおさめられています。

(4) 朝廷の命令でまとめられました。神話や伝承をもとにしていますので、すべてが事実ではありません。

2 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

9世紀になると、(①)の子孫である藤原氏が、朝廷で大きな力をもって政治を行うようになりました。なかでも11世紀の初めに政治を動かした藤原(②)は、「この世をば [] とぞ思うもち月の欠けたることもなしと思えば」という歌をよみました。

(1) () にあてはまる人物名を、次のア～カから1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 聖徳太子 イ 中臣鎌足 ウ 小野妹子
 エ 頼通 オ 道長 カ 道真

(2) 下線部の理由を、次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 摂政や関白の位についた。
 イ 中国の皇帝から王とみとめられた。
 ウ まじないをよくして人々の心をつかんだ。

(3) [] にあてはまることばを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア ほとけ イ つらい ウ わが世 エ 神世

(1)	①	イ
	②	オ
(2)	ア	
(3)	ウ	

(1) ① 中臣鎌足は大化の改新で活やくし、のちに藤原という姓をたまわりました。

② 藤原道長は4人のむすめを天皇のきさきにし、生まれた子を次の天皇にして、自分は天皇の祖父として政治を動かしました。

(2) イは古墳時代の大和朝廷の大王、ウは邪馬台国の卑弥呼のことです。

(3) この世は自分の思い通りである、という満足な気持ちをよんだ歌です。



3 平安時代の文化について、次の各文の〔 〕内から、正しいことばを選び、解答らん(解答欄)に書きなさい。

- (1) 貴族は〔合掌造がっしょうづくり 寝殿造しんでんづくり〕という大きなやしきに住みました。
- (2) 日本の風景や貴族の生活が〔大和絵やまと すみ絵〕でえがかれ、絵巻物もつくられました。
- (3) 貴族の女性は〔十二単じゅうにひとえ 束帯そくたい〕とよばれる日本風の服そうをしていました。
- (4) 紫式部むらさきしきぶは、〔源氏物語げんじ 竹取物語たけとり〕という小説に、貴族の生活や感情をえがきました。
- (5) 清少納言せいしょうなごんは〔風土記ふどき 枕草子まくらのそうし〕というずい筆に、自然や自分の気持ちをあらわしました。

(1)	寝殿造
(2)	大和絵
(3)	十二単
(4)	源氏物語
(5)	枕草子

- (1) やしきの中に自然を取り入れた建築です。
- (2) 大和絵は、「源氏物語絵巻げんじものがたりえまき」のように、美しい色でえがかれています。
- (3) 束帯は、貴族の男性の服そうです。
- (4) 「光源氏ひかるげんじ」という男性を主人公とした長編小説です。
- (5) 「風土記」は、奈良時代につくられた地理書です。

